おごせ教育 Pick up

越生小学校



10月1日（木）、2日（金）に6年生が日光へ修学旅行に行きました。1日目は、湯ノ湖畔のハイキングや中禅寺湖の遊覧船、華厳の滝の見学等をしました。2日目は、荘厳な造りの東照宮や輪王寺、日光江戸村に行きました。児童は、楽しく最高の思い出を作ることができました。

梅園小学校

10月1日（木）、2日（金）に越生小学校の6年生と合同で栃木県日光市へ修学旅行に行ってきました。湯元で足湯につかり、遊覧船で中禅寺湖を渡り、華厳の滝や日光東照宮、日光江戸村などを見学しながら、越生小学校の児童と交流を深め、楽しい思い出をたくさんつくることができました。



越生中学校



9月30日（水）に生徒会役員選挙を行いました。立会演説会と投票を経て、1・2年生から6名の新本部役員が決定いたしました。

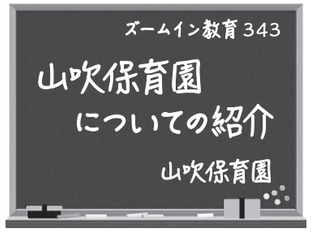
先輩方が築いてきた伝統と志を受け継ぎ、頼もしい新役員たちを中心に、「愛・感動・夢あふれる学校」に近づくよう、さらなる一歩を踏み出します。地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加するこどもたちを写真で紹介するコーナーです。

山吹保育園についての紹介



山吹保育園は1981年に開園し、2005年に今の場所に園舎を移築しました。現在70名が通園しています。

本園の特色の一つとして3・4・5歳は、様々な園の活動を縦割りクラスで行っています。異年齢との関わりを通して、やさしさや思いやりの心が育まれています。また、栽培活動を通した食農教育、お月見会やお餅つき、ひな祭り会など多くの伝統行事も大切にしています。このような日々の活動を通して、こども達は自ずから主体性や「小学校につながる力」が身に付いていきます。

0・1・2歳クラスでは、担任と保護者が毎日育児日記に、こどもの様子を記録しています。こどもの成長を共有したこの日記は、成長の証として宝物となるのではないでしょうか。

園に併設している子育て支援室「すくすく」では、専任保育士が常駐し、遊びの場としての提供の他、子育ての相談や利用者同士の情報交換の場ともなっています。





越生浪漫 No.213

東山神社の文化財



11月21日(土)（宵祭）と22日(日)（本祭）、上野の東山神社で、越生町で伝承されている4つの獅子舞のうちでは、シーズン最後の獅子舞が奉納されます。「上野まつり」と併催の22日には、武蔵越生高校の和太鼓部が出演、模擬店も出店し、大人も子どもも一日中楽しく過ごせます◆東山神社は、多門寺境内の諏訪神社が、神仏分離令により、明治45年（1912）に社殿を現在地に遷して、社号を改称した神社です。江戸時代からの様々な歴史遺産が大切に保存されています◆本殿は素木造で、柿葺の屋根には千鳥破風と唐破風が乗り、梁、壁、縁下は豪華な彫刻で彩られています。「長瀬村　頭領　福田源助」の刻銘から、長瀬村が毛呂村に合併する明治22年以前の建造であることが判ります◆覆殿に幾枚も保存されている諏訪神社時代の願的、俳諧、戦勝祈願などの掲額のなかには、出雲大社宮司で、政財界の要職を歴任し埼玉県知事も務めた千家尊福揮毫による「諏訪大神」の額があります◆拝殿で打ち鳴らされる太鼓は弘化4年（1847）奉納で、多門寺住職「福壽山二十七世現住秀虔」の名が刻まれています。壁面の長押には、飯能の絵馬師小槻正信（1908～90）が描いた七福神の絵馬が懸けられています◆本社横の八坂社も小振りながら精巧な造りです◆社務所（上野一区公会堂）には、増尾（小川町）の書家磯田健齋揮毫の文政11年（1828）年の幟、天保10年（1839）の箱裏書があり衣装箱などが保管されています。諏訪神社と多門寺が一体として信仰されていたことを物語っています。



神号額「諏訪大明神」



弘化４年奉納の太鼓（反対側に住職名が刻字）



東山神社（旧諏訪神社）本殿



八坂社本殿



七福神の絵馬（小槻正信　画）



表には「東山神社　獅子舞衣裳函」とある天保10年の衣装箱箱裏書



幟旗「諏訪大明神」